

05

債権回収解決事例

CASE
05

知人に貸した400万円超の貸金回収

債権回収

事案の概要

30代 男性 公務員

相談者は、大学時代から行きつけの美容院にて、担当美容師と懇意になっていたところ、借金の申し込みを受けました。

ずるずるとお金を貸し続けていたところ、合計が400万円超となりました。

一切の返済を得られず、連絡も取れなくなったことから当事務所に相談に来ました。

解決結果

当職が、返済を求める内容証明を送付しましたが、相手からは返済もなく、連絡すらありません。

やむなく訴訟提起を行ったところ、相手方も裁判に出席し、当方の弁護士費用も上乗せした金額で返済することを内容とする裁判上の和解を締結することができました。

担当弁護士からひとこと

債権回収において、回収できるかどうかの大きなポイントは、相手方の素性、特に職業の内容です。

相手方の勤め先が安定している（例えば公務員であるとか、大企業であるとか）という事情があれば、最終的にはほぼ100パーセント近く回収できる見込みが立つように思います。

他方で、相手方が自営業であるとか、何をしているかがわからない、という状況であると最終的な回収の場面で困難が伴います。

お金を貸す際には、相手方の勤め先を確認しておくことは必須と思います。